

いのちを守る防災教育の推進について

「いのちを守る防災教育を推進する会」では、気象災害を防止・軽減するために気象庁が発表している警報や気象情報などの防災気象情報を活用し、災害から身をまもるために、どのような準備や行動をとるべきかを、自らの問題として日頃からの備えや適時適切な防災気象情報の入手とその情報を活用した安全行動を事前にシミュレートする能動的な学習方法であるグループワークを通じて、いざというときに自発的に行動できる知識を効果的に身につかせることを目的として「大雨防災ワークショップ」を作成しました。

是非、学校授業等において積極的に活用してください。

【大雨防災ワークショップの実施ポイント】

◆事前の準備

ワークで使用する地図やワークシートなど（運営マニュアルを参照）

◆イントロダクション

ワークショップのプログラムとルールを説明する。

◆レクチャー（動画もあります）

気象災害や防災気象情報について、スライドを用いてレクチャーを行う。

学習内容について質疑応答を行うが、グループワークに関する質問には答えないようにする。



◆グループワーク

4～6名のグループで、ワークシート・地図を使用してグループワークを行う。

- ・①リーダー②記録係③発表者④くじ引き係などの役割を決める
- ・ワーク時の住居環境、家族構成をくじで決定するとワークにより入りやすい。
- ・グループワークは、2ないし3つのステップを用意している。スムーズな進行を心がける。



◆発表・まとめ

ワークシートや地図を貼り合わせて、貼りだして発表する。

- ・出来るだけ並べて貼り出すことで、活発な質疑を促す。
- ・各発表に対し、簡単な講評を行い、全体を通してまとめる。

（運営マニュアルー講評のポイントを参照）

